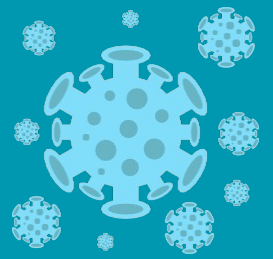


新型コロナワクチンの誤情報



新型コロナウイルスのパンデミックは我々のコミュニティにとって、非常に挑戦的なものでした。新型コロナワクチンに関する誤情報が、さらなる混乱を招いています。よくある誤情報をいくつか反証し、新型コロナワクチンの真実を明らかにしましょう。

ワクチンの安全記録

誤情報: 新型コロナワクチンの開発を急いだため、その安全性が疑われる。

事実: 迅速な開発にも関わらず、新型コロナワクチンの安全性及び認証の過程において従うべき全ての手順は遵守されています。この偉大な功績は、世界規模の協力、資金提供の増加、そして何十年も使われてきた科学的手法のおかげです。安全性は今までも、そしてこれからも最優先事項です。世界中の科学者や医療従事者たちは新型コロナワクチンの安全性かつ有効性を全ての人たちのために維持できるよう懸命に努めています。

潜在的な副反応

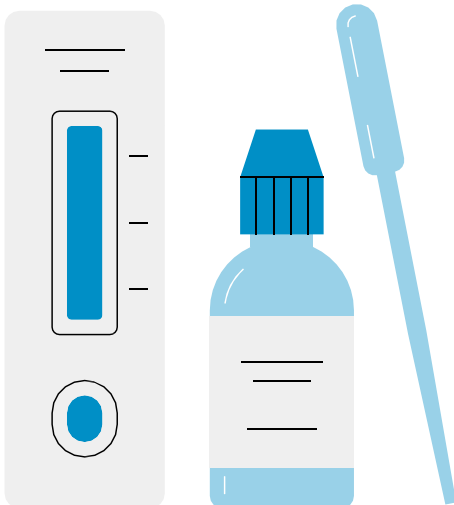
誤情報: ワクチンは重度の副反応を引き起こす。

事実: 世界中で数十億人もの人々が新型コロナワクチンの接種を受けています。ほとんどの人が、腕の痛みや1~2日続く体調不良といった軽い症状しか経験していません。重度の副反応は非常に稀です。実際に、重度の副反応が出る確率は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクよりもはるかに低いとされています。重症化、入院、死亡を防ぐワクチン接種を受けるベネフィットは、このような小さなリスクを大きく上回ります。

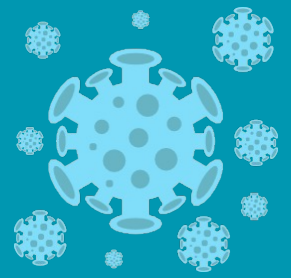
ワクチン接種の必要性

誤情報: 私は健康で、体調を壊すことは滅多にないので新型コロナワクチンを受ける必要はない。

事実: 健康な人でも新型コロナウイルスに感染すると、重症化することがあります。それに、検査で陽性が出たり症状が出ると仕事や学校にも行けず、家族の集まりや社交イベントなどに参加することもできません。



新型コロナワクチンの誤情報



その他のよくある誤解

誤情報: 私は新型コロナウイルスに感染したことがあるので、ワクチンを受けても意味がない。

事実: 新型コロナワクチンは、過去の感染の有無に関わらず、今でも新型コロナウイルス感染症の予防に最も有効な手段となっています。感染後に得た免疫は時間の経過と共に薄れるため、ワクチンは自然免疫よりも、重症化、ロング・コビット、死亡を防ぐ効果が高いことが研究により明らかになっています。

誤情報: 初期の新型コロナワクチンを打っているのだから最新のワクチン接種を受ける必要はない。

事実: 全てのウイルスと同様に、新型コロナウイルスは、感染を繰り返す中で少しずつ変異を起こしていきます。このような変異が、ウイルスの新しいバージョンや「変異株」となります。変異株が従来のウイルスに比べかなり異なる場合、ワクチンも改良されなければならないことがあります。新型コロナワクチンから得た免疫も時間の経過と共に薄れることが研究により明らかになっています。改良型ワクチンは重症化に対する予防効果を取り戻すことができます。最大限の予防効果を発揮させるために、推奨されているワクチンを全て受けておきましょう。

誤情報: 新型コロナワクチンは生殖能力や思春期に影響を及ぼすことがある。

事実: 臨床試験に参加した何千人もの人々の間で、このワクチンによる不妊症の報告はありません。実際に、大勢のワクチン接種者が効率よく妊娠しています。子どもが新型コロナワクチンやその他のワクチンを受けた後に、思春期の遅れの原因になるという証拠もありません。

誤情報: 新型コロナワクチンは私の遺伝子に変化を生じさせる。

事実: メッセンジャーRNA (mRNA) ワクチンは遺伝子に変化を生じさせることはありません。新型コロナワクチンに入っているmRNAは、遺伝子の存在する細胞核に入り込むことができません。mRNAは新型コロナウイルスに対する免疫応答を活性化させ、その後細胞は体内の他のシステムに影響を及ぼすことなく mRNA を分解し、除去します。

